

横浜ベイホテル東急 エグゼクティブツイン



外観

「横浜ベイホテル東急」は、横浜高速鉄道みなとみらい線「みなとみらい駅」に直結。最上のくつろぎを湛えた「アーバンオアシス」をコンセプトに、横浜港を見渡すロケーションを誇るシティホテル。



客室

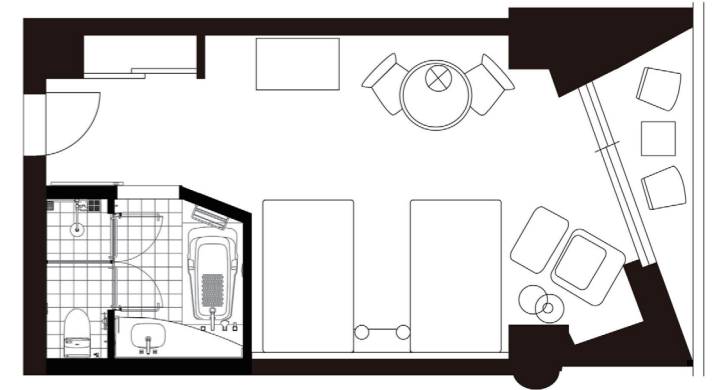
今回水まわりの改修を実施した、エグゼクティブツインルーム。大観覧車や横浜港の眺めを楽しめる、バルコニー付き。広さ38.6～40.5㎡。



水まわり 入口

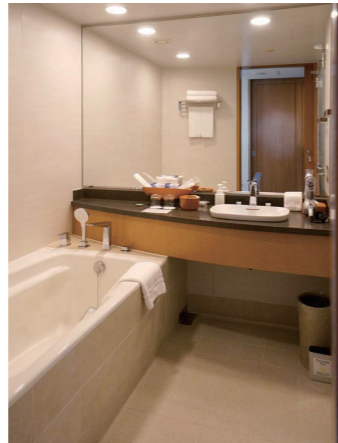
水まわりの改修は、『床残し工法』を採用。入口枠を変更せず、間仕切り壁の解体が不要なため、客室側の内装はそのまま使用可能。さらに、騒音作業が少なく、工期も短縮できるのが特長である。

図面



水まわり 全体

水まわり空間は、ベージュカラーを基調にし、温かみとやわらかい雰囲気演出。大型のユニットバス内に、浴槽と洗面、トイレ、シャワールームがコンパクトに配置されている。



浴槽・洗面

床パン、浴槽、ガラス扉などは既存を再利用し、大便器やシャワー水栓などの設備機能と壁面を一新。さらに給水・給湯配管を更新することで、水まわりが生まれ変わった。



トイレ

すっきりしたデザインのトイレ空間。大便器はコンパクトな形状のホテル向けウォシュレット一体形便器を採用している。

水まわりの特長

改修の経緯

横浜・みなとみらいの中心に位置する「横浜ベイホテル東急」は、1997(平成9)年に開業。人気レストランや客室から望む横浜の美しい夜景、オーシャンビュー、そして心を尽くしたおもてなしで人気のホテル。築20年を迎えたのを機に、水まわりの給水・給湯配管の更新を計画。全館の客室を2018～2030年度で段階的に改修していく。エグゼクティブツインでは、ユニットバスの部分的な改修方法である『床残し工法』を採用。同工法は、最も入替が難しい床パンをそのまま再利用することで、騒音作業が減少し1フロアで完結できるとともに、客室側の内装には、影響なく改修ができる。短工期・省施工という同工法の特長を生かし、運営しながらの改修が可能となった。

水まわりの特長

今回改修された「エグゼクティブツイン」の水まわりは、浴槽と洗面、トイレ、シャワールームをひとつの空間にまとめた、特注タイプのユニットバスとなっており、トイレとシャワールームの入口にガラス扉を設けて、プライベートにも配慮している。今回の改修では、『床残し工法』のメリットを活用し、短工期で、給水・給湯配管の更新はもとより、天井や壁の意匠を一新、さらに器具を最新設備に変更することで、ユニットバスの機能やデザイン性を向上、水まわり全体をアップグレードさせている。



シャワールーム



シャワールームの壁は艶消しのタイル貼仕上げとし、高級感を演出。オーバーヘッドシャワーやボディシャワーなど、多彩な機能を楽しめるシャワーバーを採用している。



改修前 水まわり全体

築20年を経たのを機に、水まわりの給水・給湯配管の更新を計画。あわせて、天井や壁パネル、水栓を一新した。



改修前 シャワールーム・トイレ



水栓や便器などの器具は、築20年が経過していたため、機能性やデザイン性の高い最新の器具に変更している。

建築概要

名称	横浜ベイホテル東急
所在地	横浜市西区みなとみらい2-3-7
施主	住商ビルマネージメント株式会社
運営	株式会社 東急ホテルズ
施工	大成建設株式会社
	TOTOアクアエンジニアリング株式会社(ユニットバス)
改修期間	2019年1月～2031年2月予定
敷地面積	44,406㎡
建築面積	34,490㎡
延床面積	496,596㎡
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造・地下3階、地上25階

おもなTOTO使用機器

ホテル向け ウォシュレット一体形便器:CES92*系
浴室用水栓金具:TMC95ECR